

# 広島大学病院 臨床検査研修会（第一回）

## 臨床検査室の将来を考える

現在、新型コロナウイルスが5類に移行し、日常の生活が戻りつつあります。今回の新興感染症から、臨床検査室として学ぶべきことも多くあったのではないのでしょうか。しかし、コロナ前から存在している医療を取り巻く環境に大きな変化はなく、医療の分化・連携や働き方改革は待たなしで進んでいきます。その中で、臨床検査室の大きな課題に人材の育成が挙げられます。そして人材の育成には「指導者」の育成も含まれています。今回、人材育成と指導者の育成というテーマを取り上げ、私たち臨床検査室の将来について考えてみたいと思います。

日時：2024年3月16日（土）13:00～15:00（受付12時45分～）

場所：広島大学病院（霞キャンパス 凌雲棟3階 講義室2）

申込：先着50名（下記QRコードもしくはアドレスより申込み下さい）

参加費：無料

座長：梶原 享子 先生 広島大学病院 臨床検査部門主任

山崎 真一 先生 広島大学病院 診療支援部長

【講演1】13:00-13:20

臨床検査室を取り巻く環境について（診療報酬改定から）

講師：山崎 真一 先生 広島大学病院 診療支援部長

【講演2】13:20-13:50

臨床検査室の人材育成 =血液・凝固検査=

講師：中川 浩美 先生 広島大学病院 臨床検査副部門長

【特別講演】14:00-15:00

臨床検査室の指導者人材育成 =血液形態学=

講師：大畑 雅彦 先生 横浜市立大学（医学研究科医科学専攻）非常勤講師  
前横浜市立大学附属病院 検査部技師長



<https://forms.gle/6uHKJ2r4wSS3Ybmp6>